

NO 90

あちら札幌

通信担当

松平明美

☎782-3338

今月のなごみ

例会報告 -----1	「シネマ 45」-----5
<あちら札幌>をやめる...2 にあたって	ホネ論争-----6
6月例会に参加して---3	Books -----7
均等法施行をめぐる---4	情報 -----8
新劇労働者の動き PART II	例会案内

86. 6. 30 発行

いままでいろいろな役割を担っていた主要メンバー2人が6月11日はいってやめることになり、これからどうしようかということで話し合いをもちました。

最初に今回の件のキッカケにもなった「ホネ論争(札幌版主婦論争?)」についてもう少し話し合った方がいいのではないかという意見がでて、皆それぞれ思っていることを話すことになりました。しかし2人がやめることについてよくわからない人が多く、どうしてもその経過をめぐっての話になっていきました。

「やめる理由は一言ではいけなかったり」「一生懸命やっていた2人をやめるところまで追いかむような所にはいられない。自分も

やめる」「主婦論争はもっと続けたかった」「どうしても熱意のある人の

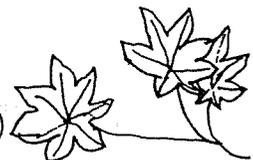
6月

報告

ところに仕事か集中した。積年の疲れではないか」等々さまざまな意見が出ました。他にもいろいろな思いが語られましたが、この件についてはそれぞれが関った立場で見方・感じ方が違うと思うので省略します。

具体的な運営・役割分担などこれからのことは話しあえなかったもので、それは7月例会で話しあうことになりました。

(細田英理子)



★〈あごら札幌〉をやめるにあたって★

★その理由とお詫び★

細谷 洋子

今月末をもって、〈あごら札幌〉をやめるという選択をした。この間、共に頑張ってくれた方、支援してくれた方、「あごら札幌通信」を読み続けてくれた方々に、不十分なからその理由を明らかにし、力不足をお詫びしたいと思う。

中心になって組ってきたメンバーの中に、明らかな路線の違いがあったことが最大の理由である。

女性問題を学習することそのものの中に運動は孕まれている。女の生き難さの根、性差別を見据え、女も男もより人間らしく生きる社会を模索することが運動でなくて何なのだろう。〈あごら〉は女性解放をめざす場の筈だった。そしてそれは、自己変革をし、まわりを変え、社会を変えていくことを必要とする。それを基本としておさえ、広げていくこと、常に、まだ〈あごら〉に出会っていない女たちのことを念頭において具体的な活動を考えなければならぬというのが私の持論であった。

それに対し「存続するだけでいい。無理をすることはない。しつとやさしく」という路線が中心的なメンバーの中にもあった。そうした路線は、度々、「たっへんだからイベントはしない。通信は縮小あるいは廃刊。例会もテーマを設定せず」に楽しくフリーキングを」という声となって現れた。とりわけ、ここ2〜3年、〈あごら〉に限らず運動全体が低迷してきたからは「エネルギーのない時代からこそ無理せず楽しく」という声が一層高くなってきていた。

「楽しくおもしろく」ということそのものを私は否定しない。ただし「楽しくおもしろく」という言葉はどのようにも使われ得ることに留意し、未来につながる「

楽しくおもしろく」である限りにおいて。

低迷し、エネルギーのない時に、イベントもせず、通信も発行せず、例会でフリーキングばかりやっていたらエネルギーが湧いてくるのだろうか。

この状況分析においても、私は意見を異にした。低迷している時だからこそ、最も基本的なこと、地道に身のまわりの問題から女性解放を考える学習会と、裾野を広げ、バラバラの点として存在している女たちをつなげる通信発行だけは続けなければならぬと私は考えていた。実際にやれることはささやかでも、未来を語り合い夢を描く中からこそエネルギーは湧くのだと考えていた。あんなこともしたい、こんなこともしたいと夢を語り合う中で「何かかやれそうな気がしてきたり、ささやかな実践を通して手応えを見出したりする中からこそエネルギーは湧いてくるのだと、そしてそういう空気の中でこそ人も育つのだと私は思う。

しかし、路線の違いは運動論としてではなく「無理は良くない」「もっとやさしく」という感情論で返ってくるのが常であり、そこを突、込むと「もう思い入れがない」「私は〈あごら〉には半身だ」という言葉に突きあたる。

一方に、東京の〈あごら〉事務局の「あごら」総刊も危ぶまれる危機的状況があり、拠点の支えを必要としていた。それについても「無理せず……」路線の見解は「札幌が何かを負わなければならぬのなら廃刊もやむを得ない」というものであった。運動論を斗わせ合うことも叶わず、こうした空気の中で私は拙れを増してきたのだ。6年間、情熱を傾けてきた〈あごら札幌〉に対する断ち切り難い思いは、今なおある。しかし、眠れない日が続き、私自身がつぶれてしまうと思うに至り、退会を決意したのである。当面は、東京の事務局を支えつつ、「やさしさ」という17の落し穴について考えてみたいと思っている。

6月13日(金). 7時から9時半近くまで. あつまた 20人 ほどのメンバーが.

ズルズル思っていることへの不安. 通信の「Free space」等

書かぬ. どの奥の奥が、くらくか読めてきた. 今日. 前回の中心の

人が三人. やることはしたの. 「主婦の敵」論争. いろいろと

が. 実際はさかたせしかな. 「あつまたは何の」
自分について

「なぜ自分にとてあつまた大事なの」いろいろと

の差. いろいろと. 差. いろいろと. 差. いろいろと. 差. いろいろと.

ことと違ふ. 違ふ. いろいろと. 違ふ. いろいろと. 違ふ. いろいろと.

17の星動体. 17の星動体を増していくこと

社会変革をい. 担っている. 担っている.

「あつまた自己啓発. 場. 個人的

勉強会. 星動体のフィールド

行方不明. 行方不明. 行方不明.

と. いろいろと. いろいろと.

人. いろいろと. いろいろと.

対策. いろいろと. いろいろと.

あつまた. いろいろと. いろいろと.

た. いろいろと. いろいろと.

あつまた

星動体(学生)

6月13日(金) 7時から9時半近くまで

「あつまた」

の意義. たろう. 達

とは問題ではない. あつまたの意義

を認め. 認める. 認める. 認める.

あつまた. いろいろと. いろいろと.

ついに5月26日会社から労協改定提案が出された。男女雇用機会均等法、改定労基法施行に伴い、労協を一部改定したい、とするもので内容は予想以上に厳しかった。①女性の時間外労働の制限について、従来の1日2時間のワフをはずし、1週6時間、1年150時間とする。②時間外、深夜労働、休日労働の制限の適用から除外する「管理職」は「係長以上」とし、「専向職」は「編集局系統（庶務課を除く）と出版局（出版業務部を除く）」とする。③生理休暇の規定を従来の「本人より請求があった期間」から「生理日の就業が著しく困難な日時」と変え、1日単位と限らず「半日とか1時間単位」とすることを想定する。④産休は通算112日の現行通りとし、多胎の場合に限り126日とする。産前の確保日数を新たに設け42日（多胎は70日）をあとにする。産後の留保日数は「42日」から「56日」に変更する。

社内の女性は一勢に反発した。97人の女性社員のうち3分の1が子持った。「これでは働き続けられない」。不安が広がった。深夜、長時間労働が主体の新体制の中で、女性はこれまで、悩みながらギリギリの線を出し、時間外労働もこなしてきた。拒否権があるというも一切拒否しては職場でやっていけないのかという家庭が

あり子供がいる。勇気を出して断れることもある。それでも時間差出勤取場は不規則だ。原稿をテープに打込むパンチャーの女性の場合、9～17時の日勤が月々平均6日。あとは11～19時、4日、12～20時、6日、13～21時、6日というぐあいだ。これに早出1時間、居残り1時間の時間外をすれば、家庭との両立は綱渡りだ。「この2時間のワフをはずさいたらとうなごみか、は切実な気持ちだ」。

管理職、専向職を思っていた以上に広い範囲だ。均等法で想定しているのは、自ら企画立案し、コントロールできる働き方なので、時間外や深夜、休日労働の制限をはずしても母性保護が保たれる。一くらの管理職、専向職だろう。私たちの会社の係長は、深夜のきついロテーションに入る。指揮監督をするが一般社員と同じ労働をこなす。専向職も編集局や出版局全般とすれば、資料整理などを受け持つ調査部まで全部入ることになり、労働者の想定する範囲をはるかに上り出す。

多胎の産休日数を除けば、生休も産休も切り下げた。会社は提案に際し、「女性の雇用の拡大で取組の拡大をはかるため」と言った。しかしこれでは、とてもそんなものは望めない。女性の補強委員4人を加えた労組中執は、提案後2回の団交を行った。1回

ついに「深夜も働け」提案出る。(新聞労働者)

“シネマ45” — 言記録映画へのこだわり — 熊谷 千恵子

5月18日、文化センター小ホールで「高レベル放射性廃棄物施設誘致反対稚内市民の会」主催による記録映画「六ヶ所人間記」が上映されました。チェルノブイリ原発事故、幌延への関心ということもあって多くの市民の来場を期待していたのですが、市民の会の努力もむなしく入場者数は65人でした。

ところで、今回の映画上映はかりでなく、「木俣の図・物語」「10フィート運動」などの自主上映に参加してきましたが、稚内での自主上映運動に限界を感じてきました。

その理由の一つに、都会にいる制作者の表現活動とその受け手となる地方での記録映画への無理解という格差が考えられます。また、文化センターができてからというもの、演劇、演奏会ばかり行なわれていくのも現実です。

こんな状態が続くのであれば、あごら札幌で紹介されてきた数々の映画が一生みれないのかとがく然としたのですが、

目は「そもそも均等法の成立をどうとらえるのか、わか社における雇用の平等にどんな展望を持っているのか」と通り、均等法の条文に沿って4時間聞きた。その結果家庭生活と職業生活の両立をうたう法の目的すら理解しておらず、具体的展望を全くないことかほっきりした。それまで「会社が平等にすると言ってるんだから、少くとも深夜働いてほしいんでないかい」と言っていた男性組合員たちも「会社もいい加減だぜ」とようやく少しづつからてく

やるさもないと思ひ、映画事務所「シネマ45」を作りました。

ささやかな形での上映会を続けていくことで、何か状況がみえてくるかもしれません。

稚内は、今減産問題で経済側がまっ暗。人口減少が続いています。また文明開化が一度にきたこともあって、(文化センター設立、市立病院の近代化、トイレ水洗にとむら下水道工事、空港ジェット化、来春開学の短大建設)住民は、重い荷物をひきずっていくことになりそうです。

こんな時、じは一体どこを向いたらよいかわからなくなりますが、あごらでの出会いを心の糧として、一歩一歩進んでいく以外ないように思えます。

最後に、良い映画があったら、教えて下さい。情報をお待ちしています。(TEL 0162-22-1252)

れた。6月25日の2回目の団交は3時間の会社は深夜働かなくていい。家庭や子供がいる女性はいい。しかし、若くてやりたい意欲のある人ではほとんどんやってもらいたい」と言った。男並みに働ける人はほしい、子供は切り捨てたい。という意向がはっきり現れた。結局、30日かタイムリミットの36協定は従来通りで更新されることになり、交渉は継続されることになった。7月は組合の執行部が新体制になり、この問題を引き継がれる。またネカから

Free Space

ホニネ 本音論争

「あらって何？」と聞かれた時、「札幌の女の、頭脳と良心の集団だよ」と言ったりする事があります。同性にはことさら言ったりしませんか、対男性だと、ちょっと格好をつけたいじゃないですか。

私はこの頃男性に同情的です。男性の解放に手を貸したいような気分です。こういう事を言うと、厳しい状況で戦っている面々から早速突き上げを食いそうです。男社会だの、男の論理だの差別だのというリア言葉の概念の洗い直しを試みたいとさ思っています。男優位の社会ではあるけど、女も加担して作ってきた社会だし、男の論理なんていったって、個々の男を制御する事、赤子の手をさげる如しという事を立証しているメンバーも居るじゃないですか。経済的責任を男に押しつけているのは充分に差別的ではありませんか？

男も変わらなければ世の中は変わりません。男の負担を軽くして選択の自由を与える事で女に対する視点が変わってくる筈だというのから私の持論ですが、産む性を抱えて弱者の立場で、身動き取れない状況に居る女にしてみれば、経済力を持つ、回りに上手く手懐けた、中年女の奢と聞かざるかもしませんね。

しかし考えてみて下さい。妻子が首にぶら下がっている事で、それがいかに男をかんじからめにし、人間性を偏ったものにしていくか。心ある男は、急いでいる女を憎んでい

る筈で、心ない多数の人と共に、全体となると彼等は女に対する厚い壁になってしまいます。それに彼等は自分が男であるという原点に立って物々考えるという発想をしません。何故なのかと私は考えます。我々が無力だから、女がそれを突きつけてこなかったからじゃないですか？ 私のリアの理想は、女と男が対等やっていく社会の実現です。そのためには男と同等に仕事を分かち合い、同等の経済力を持つ事が必要で、それが途方もなく困難な事であっても実現されていかなければならない事だと考えています。

威勢の良い事を言っても、振り返ってみれば、子育て中は自分専業主婦で居た訳で、胸を張っている主張ではないし、閉塞状況に在る女を救済するにいつもりなど全くないので、前回、私の「主婦は敵」の文が、同世の神経を逆なでする部分があったようで、驚いています。でも、例えは「広瀬さんは分かっていてくれると思います。目指すところは一緒だからです。只一つ広瀬さんに聞かせてもらいたいのには、「男並みの平等を拒否し、女への差別をはねのける質の働き方を作る」という、その方法論です。労働問題と女性問題を同時に解決しようというのですか。それは革命ですか？ 私の方法論はもう書きました。男の労働を分かち合うという事では

奥村 さと子 記

「急げや急げ料理の基礎とコツ」

小林カッ代 (大和書房、990円)

小松とみみ

☆グルメブームの同日の頃、料理の実用書も数ある中から あえてこの本をお勧めするのは、この本が実にユニークな視点から書かれているからです。それについて 筆者自身が次のように述べています。

「…(前略)昔とは畑の土が違う。海の汚れが違う。空気すらも違う。肥料も違う。これだけ いろんなものが違ってきているのだから、当然 肉にしても魚にしても、ここに野菜、これらの味がずいぶん変わってきていることは否めません。で、まずくなった、まずくなったと否定的なことはいいもののですが、それじゃあ そのまずくなったといわれる材料で、どう料理すればおいしくなるか、という実際的なことが、あまり生かされていないのではないでしょうか。…」

☆というわけでは、この本はこれらのスーパーに売っている材料で、安く美味しいものを作って食べたい、と思う方に最適です。内容は章ごとにだけ紹介すると、「第1章 忙しい毎日だからこそ、おいしい汁物が飲みたい、第2章 野菜は家庭料理でしかなくとれない、第3章 魚料理もどう取り入れるか、第4章 豆腐と玉子も上手に使いこなす」で、アドバイスがたいへん具体的・実際的なので、重宝いたします。ただ、添加物とか農薬とかの食の安全面についてはほとんど目を通りきれないの、物足りない部分もあります。

「良いおっぱい、悪いおっぱい」

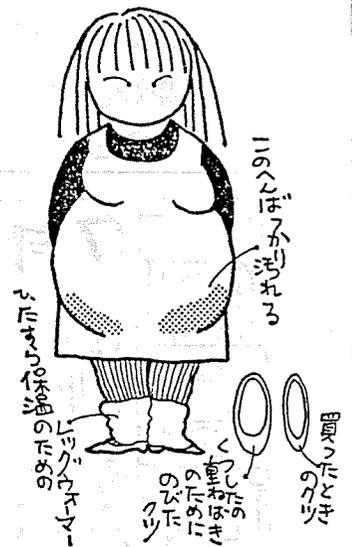
伊藤比呂美 (冬樹社、1200円)

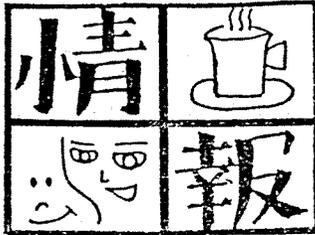
☆「すてきな妊娠・たのしい出産・あかるい育児・まじめな家族画」(帯のコピーあり)の本です。私は妊娠→出産→育児に南してまったくの未経験で、しかもたってこの1年間ぐらいいは産む予定もないのですが、それでも買ってしまったのは、この本にありきたりの実用書にはない面白さがあったからです。

☆つまり、ふつう本には書かれない、カッコ悪いことや本音がいきいきと描かれ、まるで体験談を聞いているみたいなのが臨場感があり、私はこれを読みつつ何回笑ったことか!! また、書かれた内容も医学的にみても妥当です。

☆経理者はこれを読んだら、どんな感想を持つのでしょうか?

「あら、同僚諸姉の感想をぜひ聞きたくて、紹介しました。」





○ 中央区 カ2回 母と女教師の集い

テーマ 子ども達の食を考えよう

映画 暮らしの中の不安 合性洗剤

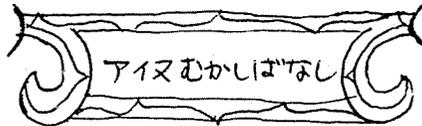
16mm 30分

スライド 札幌の学校給食 - 洗剤 - 30分

話し合い

日時 7月12日(土) 14:00~16:00

場所 中央区民センター



月へいった女の子

絵文 鈴木ト江

通信購読者の鈴木ト江さんが三冊目の絵本をおきました。暗い夜にこうこうと光る月の中の陰影をアイヌの人達は水とくみ子と見とらる。既刊、「サケとカマ」「鹿とサケとカマ神様」もあわせて読んでいただけたらと思います。御希望の方は、高橋(TEL. 563-6917)まで。

あとがき

リフト、運動だと声高に叫ばれれば、叫ばれただけ、気持ちがかたんでいくのはなせだろう。なせ、意欲が失われれば、叫ばれたのか、じっくり話し合ってみませぬ。



「再度 こゝからのあごら札幌について」

具体的な運営について話し合います

7月13日(日) PM 6:30 ~ 9:00

喫茶ミドリ2階(南4西1) 0231-7627